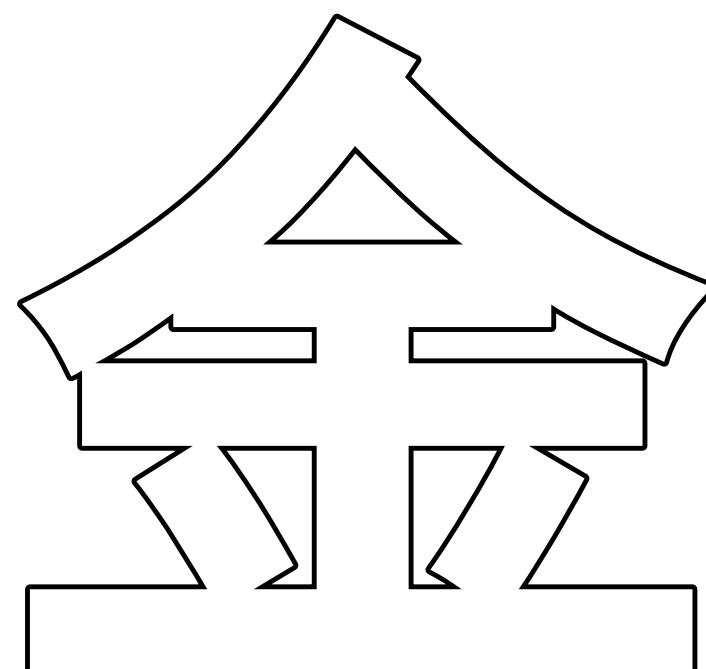


元木

育英大助手



レスリング
女子62キ級



女子62キ級で金メダルを獲得し、日の丸を掲げる元木咲良＝パリ (共同)

県勢個人で 2人目快挙

【パリ共同】パリ五輪第16日の10日、レスリング女子62キ級決勝で初出場の元木咲良(22)＝育英大助手Ⅱが、前回3位のコリアデンコ(ウクライナ)にテクニカルスペリオリティー(TS)勝ちし、金メダルを獲得した。埼玉県出身。組み手やタックルなどに優れた攻撃で、2021年東京五輪女王の恒村友香子(旧姓川井)らを破って代表になった。昨年の世界選手権2位。父で00年シドニー五輪男子グレコローマンスタイル63キ級代表の元木康年さんと2代出場となり、父が届かなかった頂点に立った。準決勝は第2ピリオドで大技の「反り投げ」を決め、劣勢を覆した。決勝は積極的に攻め続け、第1ピリオドから順調にリードを広げた。

